

平成 24 年 6 月 5 日 00069 号

編集者:佐藤 寿 春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-61-4804 Fax:0157-23-0581

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

# 北見武道通信

## ニュースレター 【柔道情報】協会・連盟連日総会

先月 5 月 19 日(土)柔道協会・20 日(日) 北見柔道連盟がそれぞれ平成 24 年度総会を午後 6 時、ベルクラシック北見で開催されました。会場には約 30 名の会員が集い、昨年の全道大会(マルちゃん大会)開催等の報告事項や、今年度の計画案が審議されました。今年は、7 月 8 日(日)北見市立体育センターを会場に、第 57 回三地区対抗柔道大会・第 32 回三地区対抗ジュニア柔道大会が開催されるため、主管連盟としての準備・検討もされました。



## 「全日本柔道連盟公認指導者資格制度」がスタート



全柔連では、「平成 25 年度から、柔道指導者の指導力向上を図り、社会的信用を高め、地位を証明する為に、『公認指導者資格制度』をスタートします。平成 25 年度からは資格がなければ指導者登録や団体登録ができません。」としています。平成 24 年度内は移行措置をとり、現役指導者には特別に都道府県で行われる指導者講習会を受講し、都道府県柔道連盟に申請すれば、審査(都道府県→全柔連)を経て資格が与えられます。中学校の武道必修化や柔道事故の発生等も「公認指導者資格制度」がスタートする要因となっているようです。北見柔道連盟(武藤弘司会長)からも約 40 名以上の会員が安全指導講習会を受講しており、北海道柔道連盟(高梨幸輔会長)と全日本柔道連盟で審査され、平成 25 年度には、「公認指導者資格」が認定される見込みです。

## 【剣道情報】第 54 回“赤胴”少年剣道錬成大会予選会並びに『第 61 回青少年剣道錬成大会予選会』開催

去る、5 月 20 日(日)に、北見市立体育センターにて標記の予選会を行ないました。『第 54 回“赤胴”少年剣道錬成大会予選会』は個人戦で、市内各少年団より計 13 名の選手が試合に臨みました。上位 3 位までに与えられる参加資格を得るために、手たちは日頃の稽古で培った技量の持てる力を十分に発揮して健闘しました。参加選手の気迫が会場いっぱいにあふれ、見ている者をも魅了していました。そして、どの試合も周囲の模範となるような試合でした。予選の結果、全道大会への参加資格を得たのは次の 3 名でした。新保愛佳音(東少年部)、芦原咲月(武道館)、井口悟(東少年部)『第 61 回 青少年剣道錬成大会予選会』は団体戦で、市内より 4 団体 24 名の選手・指導者が出場して行なわれました。この試合は、「基本試合」と「互角試合」で構成され、単に試合の「勝ち・負け」だけでなく、



普段の基礎・基本の大切さを学び実践する「試合形式」が採用される数少ない大会でもあります。選手たちは普段稽古をつけてもらっている指導者(先生)に向かって、元気いっぱいに基本打ちを行ない、日ごろの鍛錬の成果を発揮していました。全道大会の切符を手にした団体は、北見東少年部・北光少年団・南少年部の 3 団体です。「赤胴」個人戦、「青少年」団体戦、ともに来たる 8 月 5 日(日)に「真駒内キョウエイアリーナ」で行なわれる、全道大会に北見市の代表として出場します。